



* CONTENTS *

🌿 丹波の森構想評価・検証事業について 2~3 🌿 子ども広場 4

🌿 森あそびのススメ・ささやまの森公園からのお知らせ 5 🌿 生活創造ニュース・消費者相談コーナーからのお知らせ 6

🌿 協会からのお知らせ 7 🌿 丹波の森フェスティバル・丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば 8

「丹波の森構想」20年の歩みを検証していきます

— 今後の地域づくりの方向性も提案 —

丹波における地域づくりの指針である「丹波の森構想」の策定から20年という節目の年を迎えることから、丹波県民局、両市(篠山市・丹波市)そして(財)兵庫丹波の森協会や住民代表で組織した委員会において、丹波の森構想の推進の成果等を評価・検証し、今後の地域づくりを提案していきます。

ここでは評価・検証の対象とする内容や、進めていく体制等の概略をお知らせします。調査の中にはアンケート調査等も実施し、皆様の貴重なご意見も反映していきたいと考えていますので、調査へのご協力をお願いします。

【丹波の森構想とは】

- 1 策定期間 平成元年(1989年)3月
考え方 丹波全域を「丹波の森」と位置づけ、人と自然と文化の調和した地域づくりを目標とするもの
- 2 基本理念
①自然と共に生きる地域社会の実現
②潤いと安らぎのある地域社会の実現
③活力ある開かれた地域社会の実現
- 4 「丹波の森づくり」の取組
①美しいまちづくり
②森との語り合いと場づくり
③心豊かな「コミュニティづくり

評価・検証の内容は

20年前の丹波地域との状況比較や、丹波県民局や両市、(財)兵庫丹波の森協会が実施してきた事業の洗い出しを行う中で、現在の丹波地域が抱える課題を明らかにして、今後の地域づくりの方向性を提案していきます。

前兵庫県知事員原俊氏(丹波の森構想提唱者)や半田真理子氏(公園・ウイーンの森研究者)にインタビューを行います。

調査の体制は

住民代表を交えた 評価・検証委員会を設置

この委員会(委員長/中瀬勲兵庫県立大学教授)で「丹波の森構想」の理念のもとに進めてきた丹波の森づくりの成果や課題を評価・検証していきます。

委員は学識経験者や住民代表(4名)、行政関係者の13名で構成されています。

住民参加の ワークショップも実施

評価・検証事業にかかる業務を円滑にまた効果的に進めるために、ワーキンググループを設置しています。

このグループには総括部会と3つのテーマ部会(共生社会部会、まちづくり部会、地域産業部会)を置き、分野ごとの情報の収集や整理、分析を行っていきます。また、歴代関係者のヒヤリング調査や現地調査、アンケート調査も実施していきます。

丹波の森構想検証フォーラムの開催

本年は「丹波の森構想」の推進母体であります(財)兵庫丹波の森協会が設立されてから20年にあたり、これまでの歩みを振り返るとともに、住民主役の活動と交流を促進し、丹波の森構想の一層の推進を図るため、多彩な企画を用意して、11月8・9日の2日間にわたり丹波の森フェスティバルを開催いたします。

11月8日(土)には記念式典、丹波の森構想検証フォーラム等を開催し、翌9日(日)にはふれあいと交流の場となるよう多彩なイベントを計画しております。詳しくはチラシ等でご案内させていただきますので、皆様方のご来苑をお待ちしております。

報告会の開催

評価・検証の中間報告を11月の丹波の森フェスティバルで、最終報告を3月の市民フォーラムで開催します。



丹波の森構想20年を思う！

丹波の森公苑長 中瀬 勲

私と丹波との本格的な関わり合いは、「丹波の森大学」の開設準備委員会に入れて頂いた平成元年頃であったと記憶しています。森大学の「講師陣は?」「カリキュラムは?」と、前例のない試みに対して、熱く議論したことを記憶しています。その後、縁があった、公苑長を河合雅雄先生から引き継ぎましたが、はやくも3年が経過しました。この間に、多自然居住地域における地域づくり、地域活性化などに関して、多くのことを経験し、実践し、学習し、研究させて頂くことができました。20年の節目に際して、思うところを以下に記してみます。

「丹波の森構想」は、概念が明快で、今でも先進的なことは大いに評価できます。提言された諸先達の方々に心から敬意を表する次第です。「ウィーンの森」のように、森、山、川、畑、集落、町、生業、生活、これら地域全体が森という考え方です。これらは、ウィーンの森、バイエルンの森、フォンテーヌブローの森など、国内外から多くの参加者を迎えた2回にわたる「森の国際会議」の成功、今も継続しているウィーンの森訪問団の派遣などにもつながっているのでしょう。さらに、丹波の森大学などの開設は、わが国の先駆的な生涯学習の試みであると思っています。

このような多彩な試みと実績が、地域づくりに関して、平成9年の国土庁長官賞受賞になると共に、わが国の多自然居住地域における活性化のモデルとしての地位を、丹波が占めることになりました。一方、県下では、丹波地域ビジョンの作成で、丹波のビジョン委員会を中心に、新しい公、参画と協働を基調にした展開がなされたことは記憶に新しいことです。

これらの動向は、丹波地域の皆さんの努力によるものですが、これに加えて丹波地域外の多くの方々から多大な御支援を頂いたことによるものです。深くお礼を申し上げます。



第17回ウィーンの森親善訪問
ーウィーン13区表敬訪問ー



第18期丹波の森大学



ひおき軒先ミュージアム

子ども広場

平成20年度の子ども対象事業の紹介

今年も大人気 たんば子ども塾

丹波青少年本部の特色事業!! 篠山・丹波市内の県立高等学校7校に全面的な協力を得て、高校生自らが講師となり、小学校4年生～6年生の塾生が、科学実験や調理実習など優しく丁寧に教えていただきます。

この「たんば子ども塾」を通して、異年齢交流を図り、子どもたちの豊かな感性と自立心を育てます。



県立氷上高等学校であんパン作り

丹波の森公苑環境学習推進事業 丹波縄文の森塾

(財)兵庫丹波の森協会では、協会設立20周年を迎えた今年度から、子どもたちが丹波の森公苑の里山を舞台に年間を通して学ぶ「**丹波縄文の森塾**」を開催しています。

丹波地域の小学校3年生～6年生32人を受け入れ「**あつまれ！里山に遊ぶ子どもたち**」をテーマに里山の生きもの観察や森あそび、稲づくりなどの環境体験学習を展開しています。



縄文体験—土器の野焼きに挑戦

子どもたちの豊かな感性や表現力を育みます 丹波の森子どもミュージカル体験塾

7月26日(土)～10月24日(金)まで11回のレッスンを重ね、平成20年10月25日(土)に「**フランダースの犬**」を発表公演します。



ミュージカル「フランダースの犬」の一場面

オーディションの様子

今年もオーディションを行いました。当日、受付でオーディションテキストが手渡され、ほとんど練習する時間もないまま、小学校1年生から順にオーディションが始まります。大きな声で、どれだけ感情を込めて演技できるかがポイント。小学校6年生以上は「笑い声」も含まれます。緊張して顔を引きつらせながら、それでも、ほとんどの子どもたちが大きな声で演じていました。なかには、感情表現豊かなレベルの高い子もいました。参加者全員の合格発表があると、それまでの緊張を爆発させるように、大きな歓声が聞こえてきました。



第1回レッスンの様子



オーディションを待つ子どもたち

森あそびの ススメ

—「いにしへの道」を歩く—

県立丹波の森公園の中庭から里山の方へ緩やかに上るアスファルトの道は、「ピツ栗の森」から「三原池」や「オオムラサキの飼育ケージ」、「森のアトリエ」、「砂防ダム」へと続いています。その辺りは、「芸術といにしへの森」、「いにしへの道」と名付けられ、コナラやクリ、アラカシの大木があり、春から夏の間はオオムラサキやカブトムシなどの森の生きものたちとの出会い、秋にはドングリが拾える紅葉の美しい散歩道です。



道中にはシダや笹などに隠れて古墳がひっそりと在ります。そこには「三原古墳群10」のプレートが置かれています。風雨などでかなり傷んでいますが、近づくと横穴から石室が覗けます。



「氷上郡埋蔵文化財分布調査報告書（1996年3月）」によると、古墳時代（6世紀後半頃）に15基で構成された古墳群で、辺りにまとまって13基登録されていますが、今では石材が残っているだけで確認できないものもあります。うっそうとした林の中には未調査の古墳が眠っていても不思議ではありません。近くには竪穴式住居跡も確認されていて、土器も大量に見つかっています。

この秋、はるかむかしの自然や風景、暮らしに想いを馳せながら、秋の実りを楽しみに散策するのも楽しいでしょう。

—秋の里山まつり—

とき 10月12日(日)
10時～15時(申し込み不要)

内容 木工クラフト・餅つき
森のバザー・農産物販売
ほか



—定例プログラム—



- ✿ 11月 シイタケの原木伐採 黄葉の深山に登ろう ほか
- ✿ 12月 しめ縄作り バードウォッチング ほか
- ✿ 1月 冬の深山に登ろう ほか
- ✿ 2月 黒豆味噌作り ほか
- ✿ 3月 シイタケの植菌打ち ほか

兵庫県自然活用型野外CSR事業

ささやまの森公園

〒669-2512 兵庫県篠山市川原511-1
TEL079(557)0045/FAX079(557)0201
U R L : <http://www.sasayamanomori.jp/>
E-mail : csr@sasayamanomori.jp

今年度から、地域の生活創造活動の取組や情報をお届けする**生活創造しんぶん「たんば.COM」**を、(財)兵庫丹波の森協会・丹波の森公苑が発行する“丹波の地域情報紙「丹波の森」”の紙面上に編集して丹波地域の皆さんにお届けいたします。

県民交流広場では、地域の皆さんが主体となって、様々な手づくりのコミュニティ活動が展開されています。あなたの地区の県民交流広場活動にお気軽にご参加ください。

実施地区

- 篠山市 大宇地区 大山地区 西紀北地区 日置地区 雲部地区
- 丹波市 黒井地区 神楽地区 遠阪地区 吉見地区 鴨庄地区
美和地区 久下地区 前山地区

活動事例紹介

篠山市西紀北地区(草山郷づくり協議会)



*****草山さとの家*****

地域住民の絆を深め、都市と農村の交流めざす“草山さとの家”

草山さとの家では、パソコンに向かう高齢者と地域の婦人の笑い声が響きます。パソコン教室を支えるのは地域の若い婦人たちです。

一方、豊かな自然と里の恵みを資源に、都市と農村の交流に取り組む“草山あぜみちショップ”や新たに“ふれあいルーム”も始まり、だれでもが自由に集まり、ゆったりとした時間の中で草履づくりやお茶を飲みながらの雑談など自由に過ごしています。

“人が集まれば何かが始まる”、“話をすれば新しいことが発見できる”と地域の人々の元気をもとに、次々と新しい企画に挑戦しています。



丹波市市島町美和地区(美和地区自治振興会)



*****美和ふれあいセンター*****

ふれあいと交流を育む
ふれあい喫茶・ギャラリー“とんぼり”

“とんぼり”は、ボランティアにより運営され、高齢者から子どもまで年間約4千人が利用します。

玄関を入れば、ずらりと並んだ住民の手作り作品とスタッフの笑顔が迎えてくれます。

俳句、書、絵、粘土人形、木の根細工など見事な作品に話題も広がります。

最近では、飲み物のほか火曜日限定でうどんメニューに加わり人気を集めています。

産物販売、地域防犯活動、各種教室、写真コンテスト、夏祭り、うどんを囲んでの交流会など、住民のアイデアが次々と展開されています。



裁判告知のハガキが届いた!

相談事例

民事裁判を知らせるハガキが届いたので、慌てて記載の連絡先に電話をした。そこで紹介された弁護士が、裁判に必要なお金と云うので、用意できるだけのお金を振り込んだ。後日返金されると聞いていたが、返金されない。騙されたのだろうか?

アドバイス

ハガキを受け取った相手に訴訟が起こされようとしていると欺き、お金を振り込ませる事が目的の架空請求詐欺です。

裁判取り下げ期日が、ハガキ到着の翌日辺りに設定されており、どこかに相談する時間を与えず、連絡を急がせる仕組みになっています。

裁判を知らせる通知が、ハガキで届くことはありません。ハガキの差出人が、存在しそうな行政機関の名前になっていますが、実際にそのような機関はありません。また、『民法〇〇条に基づき…』などと、法律名が

使われたりしていますが、たいいてい間違った記載です。

このようなハガキは、何らかの手段で名簿等を手に入れた業者が、ハガキを一斉送信しているものです。

心当たりが無ければ絶対に連絡を取らず、無視しましょう。もし、心当たりがあり不安だという方は、ハガキの連絡先に電話をせずに、最寄りの消費者センターへ相談しましょう。

契約トラブル 悪質商法など **困ったら相談!**

0795-72-0999

相談時間：午前9時～午後5時30分
休園日：月曜日 祝日の場合はその翌日
〔土日來所相談は予約制、電話は週末電話相談へ〕
丹波の森公苑生活情報相談コーナー

第17回丹波の森写真コンクール作品募集中



第16回最優秀賞
神戸市 銀崎 宜広
「今日は洗濯指数100」

◆テーマ
「丹波の森の癒しの風景」

◆締切
平成21年2月末

詳しくは(財)兵庫丹波の森協会まで

素敵な写真をお待ちしています。

information

(財)兵庫丹波の森協会
0795-73-0933

ホームページ <http://www.tanba-mori.or.jp/>
E-mail mori-kyokai@tanba-mori.or.jp

ホームページへのアクセス、
みなさまのご意見をお待ち
しています。

むかしばなしを活用してのボランティア活動

こころ豊かな子どもに育つように願いながら、学校や保育園、子育て団体等からの要請を受けて、むかしばなしを読み聞かせる活動を行っています。

当協会には、9グループの語りベクラブの登録があり、むかしばなしの舞台となった現地に出向いての研修会等も実施しています。



第8集掲載作品
「犬飼ものがたり」の現地研修

ご用命があれば(財)兵庫丹波の森協会までお問い合わせください



丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし
第1集～第8集

丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなしの発刊

多くの人たちのご要望にお応えし、「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」を販売しています。

篠山市・丹波市内の施設等でも購入できますので、(財)兵庫丹波の森協会までお問い合わせください。

点訳本を丹波の森公苑図書コーナーに備えておりますので、ご利用ください

地域とともに“丹波の森研究所”

丹波・企業の森づくり

丹波地域では昨年より、過疎化・高齢化により地域力の弱くなった地域での地域づくりとして、地域住民と企業の協働による「企業の森づくり」を推進しています。

近年、企業の社会貢献として地球環境への保全活動や地域への社会活動が活発に行われるようになってきました。こうした活動を地域の荒廃しつつある山林や河川等の農村環境の保全にマッチングさせることにより、地域づくりに活かしていこうという取組です。

今年3月には、篠山市油井地区で企業の森モデル地区第1号として森づくり活動が開始されました。

企業の森づくりにおいては活動の継続性が強く求められています。そのため、活動における地域のニーズと企業の活動内容との調整=コーディネートが重要な鍵となります。

現在、このコーディネートを丹波県民局柏原農林振興事務所と篠山市・丹波市の両市が行い、(財)兵庫丹波の森協会がサポートしています。

今後この取組を多くの集落・企業に広げていき、地域活性化に役立つよう、当協会としても取り組んでいきたいと考えています。



油井鎮守の森で活動する
三菱電機神戸製作所の人達

お問い合わせ

(財)兵庫丹波の森協会
丹波の森研究所

TEL・FAX 0795-73-0933

今年度は(財)兵庫丹波の森協会設立20周年、「丹波の森構想」策定後20年にあたることから、これまでの歩みを振り返り丹波地域の魅力を再発見するとともに、緑豊かな自然の中で地域や世代を超えた多くの人々の参加により、都市との交流とふれあいの場となる多彩な記念事業を実施します。



(財)兵庫丹波の森協会設立20周年記念 2008丹波の森フェスティバル

- ◆とき 11月8日(土)～9日(日)
- ◆ところ 丹波の森公苑
- ◆内容 (財)兵庫丹波の森協会
*設立20周年記念式典
/丹波の森構想検証フォーラム
*ふれあい交流広場
/青空ふれあいフリーマーケット
/丹波の味覚コーナー
/遊びのコーナー ほか
シューベルティアードたんば2008
*ファイナルコンサート

14th 丹波の森国際音楽祭 Tamba no Mori International Music Festival 2008年9月7日(日)～11月9日(日) SCHUBERTIAD E TAMB A シューベルティアードたんば



*****ファイナルコンサート*****

- ◆とき 11月9日(日)14:00開演 ※30分前開場
- ◆ところ 丹波の森公苑ホール(丹波市柏原町柏原5600)
- ◆チケット 大人 3,000円(当日3,500円)
高校生以下 1,000円(当日1,500円)
※会員は1割引き(全席自由席)

今年にはフランスにパブロ・エスカンデ氏(ピアノ)を迎え、9月～11月のファイナルコンサートまで、丹波の各地で気軽に楽しめる手作りコンサートが行われます。

テーマ「再発見!音楽で魅せる“たんば”

国境を越えた地球規模の視野と草の根の地域の視点で丹波の森国際音楽祭を捉え、地域に根ざした取り組みを一層深め、音楽を通して育む「丹波の森」を実現するとともに、都市部との交流や海外との連携により、文化でつながる豊かな社会をめざします。

▶ 詳しくはホームページをアクセスしてください。
<http://www.tamba-mori.or.jp/>

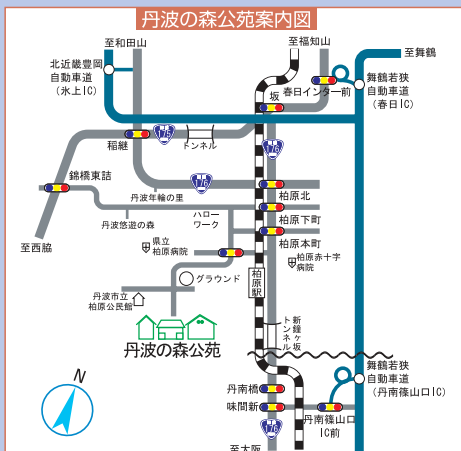
ファイナルコンサートにあわせて

★特別列車・交流バスを運行

特別列車「シューベルティアード号2008」大阪・尼崎・宝塚から柏原間往復
交流バス [第1便] 神戸方面より [第2便] 加古川方面より

毎年、都市部から300名程度の来場者を迎え、盛大に開催します。

お問い合わせ先 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば実行委員会事務局 / 0795-72-5170



丹波の森 第37号
—平成20年9月発行—
(財)兵庫丹波の森協会・丹波の森公苑
〒669-3309 丹波市柏原町柏原5600
Tel.0795-73-0933(森協会事務局)
Tel.0795-73-0933(森協会事務局)
Fax.0795-73-0933(森協会事務局)
Tel.0795-72-2127(森公苑 代表)
Tel.0795-72-0899(森公苑 代表)
Fax.0795-72-0899(森公苑 代表)
Tel.0795-72-5168(森公苑 活動支援部)
Tel.0795-72-0999(森公苑 消費生活相談)
Tel.0795-72-5169(森公苑 森づくり課)
Tel.0795-72-5170(森公苑 文化振興部)
Tel.0795-72-5167(森公苑 企画調査課)
<http://www.tamba-mori.or.jp/>
E-mail:morikoen@hk.sun-ip.or.jp
印刷:ウニスガ印刷株式会社

森のクイズ

今年、「丹波の森構想」策定から何年目を迎えたでしょう。

- ① 10年目
- ② 20年目
- ③ 30年目

正解者には、抽選の上協会からすてきな記念品をプレゼントします。クイズの答えと住所、氏名ご意見などを書いてはがきで事務局までお送りください。(※切10月31日必着) 36号の答えは ③が正解でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

フェニックス共済 兵庫県住宅再建共済制度 ▶ 震災から学んだ「助け合いの大切さ」を自然災害への備えに生かしたフェニックス共済に、ぜひご加入ください。

お問い合わせ先 兵庫県丹波県民局企画調整部防災課 / 0795-73-3726